

ニッパに
参加する
いいこと
あるぞ

私の好き
はラノバ
たぐん
ある

年に4回発行している広報誌
『ホルターダ』を作成してきた"中高生も募集
しております。文章、イラストの掲載のほか、
おすすめ資料の紹介など、ぜひ皆さんのアイデアを
活かした広報誌を作ってきた"とい
興味のある方は、お気軽に中央図書館まで
お問い合わせください。



このQRコードで⇒
メール作成可能
です。

と、^一終
う い
で す？

(図書館スタッフ)

これからの
YAボランティアの力作!!
☆オ
☆
並べて見ると☆
圧巻です。

MAIL:
inagilib@library.inagi.tokyo.jp
HP:
<http://www.library.inagi.tokyo.jp>



おすすめ本 おしえて!

職場体験 に来てくださった
稲城市立第五中学校の皆様のおススメ本です。



「**キミと泳ぐ**
夏色の明日」
永良サチ

図書館でも
小川こころ先生の書いた本
読めます!!!

『ゼロから始める文章教室』ナツメ社、2021、
小川こころ著、816p

『イソップものがたり70の選』東京書店、2017、
イソップ原作、田島信元監修、小川こころ
監修、G991.4

『グリムどうやめ50の選』東京書店、2017、
グリム原作、田島信元監修、小川こころ
監修、G943.7

この本は、主人公である、短槍を使う女用心棒の
バルサが、精霊の卵に宿られた白王子、ヤグルを守り、戦
う物語です。この物語独自の、現世である「サグ」と異世界の
「ナユグ」が重なり、同時に存在しているという世界観や、
呪術師の存在、国の思惑などが複雑に物語に関わっ
てきます。大人でも子供でも、それぞれ楽しめる
本なので、ぜひ一度読んでみてください。

精霊の守り人
上橋 菜穂子

**小川こころ先生の
文章教室がよかった!!**

文筆家であり、ライターでもある小川こころ先生の
講座が 3月21日(月)におこなわれました。
中学生から 大人まで幅広い方が参加して
くださり、とてもおもしろい内容でした。
稲城市立中央図書館からスタッフも
参加。講座の感想を
書いていただきました。



ぼくはイエローでホワイトで
ちょっとブルー 作 ブレイダミカ
新潮社

(Yahoo!ニュース「本屋大賞2019」ノンフィクション賞受賞)

この本は、日本人の母と、
ヨーロッパ人の父、その二
人の間の息子の三人が、
主な登場人物です。
息子はカリック校に通
っていて、次は地区の中
で番頭かいり。
中学に通えなかったが、

元、成田中学校に通
たいといい、通うことにな
りました。そこは、毎日が事件の
連続。そこで起こる事件は、
シスター問題、貧富の差、人種差別
といった、今考えなければいけな
い。難しい事件ばかりでした。この物語はその
親子の成長物語です。ぜひ読んでみてください。

コツコツコツとペンの音が鳴り響く教室なんて
何十年ぶりだろうか。中学生から大人まで、
その年の差は60歳くらいになるだろうか。
みなさん、小川こころ先生からいただいた
ワークに向き合い、一心に書いていらした。
面白い文章を書くためには自分のことを
よく知ること。そのために好きなキャラクターを
分析してみる、という面白いワークも済ませ、
「相手を本気にさせる文章」を書くコツも
色々教えて、最後の課題は
「親に向けた お小遣いアップの依頼文」だ。
全員が書いたものを読みあげて発表となると
それぞれの子供時代と人生経験が表れた
文章に、その説得力に驚く。
そして、小川先生がじっくりと聴いて
一人一人の良いところをたくさん見つけてくださる。
面白い文章が書ける人は自分のことを知り、
かつ、他の人のことも目を凝めて知ろうとする
人なのかもしれない。先生の姿からも大事な
ことを教えていただいた教室でした。
(図書館スタッフ)



感想を書いてくださったスタッフさん。
いつも笑顔のみなさん。
本が大好きなみなさん。
本が大好きなみなさん。